

幼児用便器(1～2歳児用)

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください!

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
 施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

注意

陶器は割れものです。

- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。



指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

お客様にお渡すまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

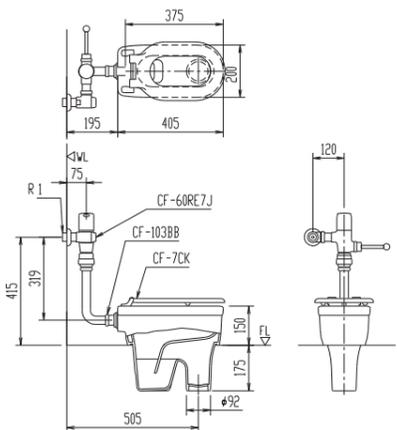
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。



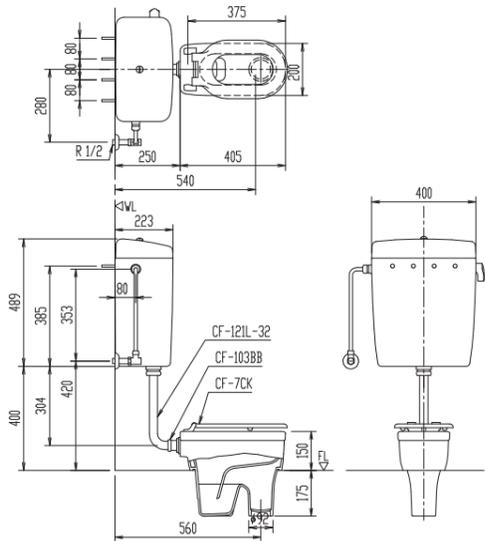
指示実行

完成図

フラッシュバルブ仕様の場合



平付タンク仕様の場合



施工前の注意

- 幼児用便器(1～2歳児用)の施工方法は、基本的に和風便器の施工要領と同じになります。
- フラッシュバルブ仕様、タンク仕様ではそれぞれ排水芯、給水位置、給水管径が異なります。

各部のなまえ



部品の確認

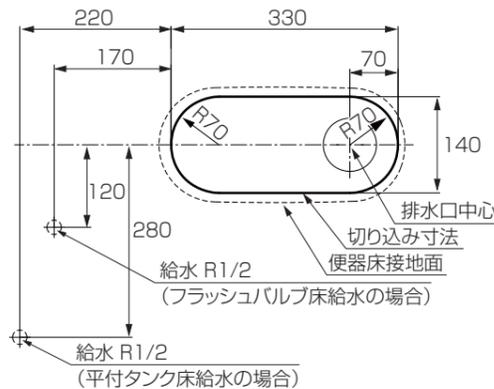


施工方法

1 床面の準備

- 便器を据付ける位置に仮枠(箱入れ)をして、大便器の外周(リム部)より小さめの切り込み穴を開けておきます。

注意1参照

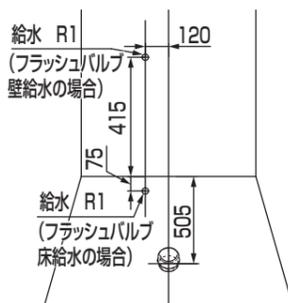


2 給排水の位置決めと取出し

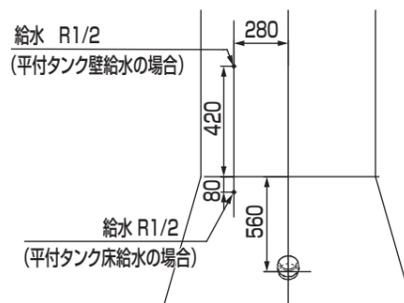
注意2参照

- 排水管、給水管を取り出します。
- ※ フラッシュバルブ仕様とタンク仕様で排水位置が異なりますのでご注意ください。

フラッシュバルブ仕様の場合



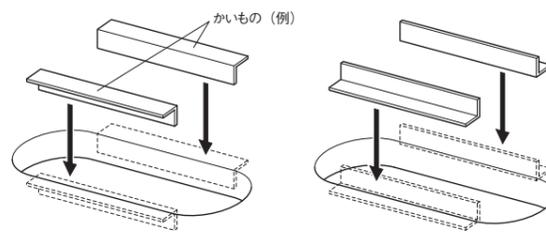
平付タンク仕様の場合



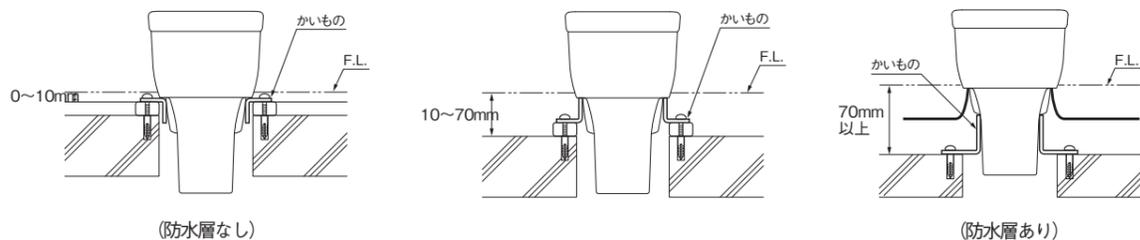
3 便器の据付け

- 便器にはあらかじめスパッドを取り付けておいてください。
- スラブ上には、据付けのため「かいもの」(L字形鋼など)を準備(現場手配)し、開口部に沿って設置し仮据えします。
- かいもので本体左右2カ所を支えるように設置し給排水の位置を決めた後、かいものをスラブにコンクリートボルトなどで固定してください。
- 便器据付後は梱包箱を被せ養生してください。 ※ 工具の落下や溶接の火花などから便器を保護するためです。

「かいもの」の設置例



かいもので、ツバ部が仕上げ面(F.L.)にくるように調節する。 **注意3参照** **注意4参照**



注意1

箱入れの際、スラブの鉄筋は切っておいてください。

注意2

- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 給水管はぐらつきのないように、しっかりと固定してください。

注意3

洋風便器であるため、通常の和風便器と異なり自重が直接かかるため、確実にかいものをスラブに固定してください。

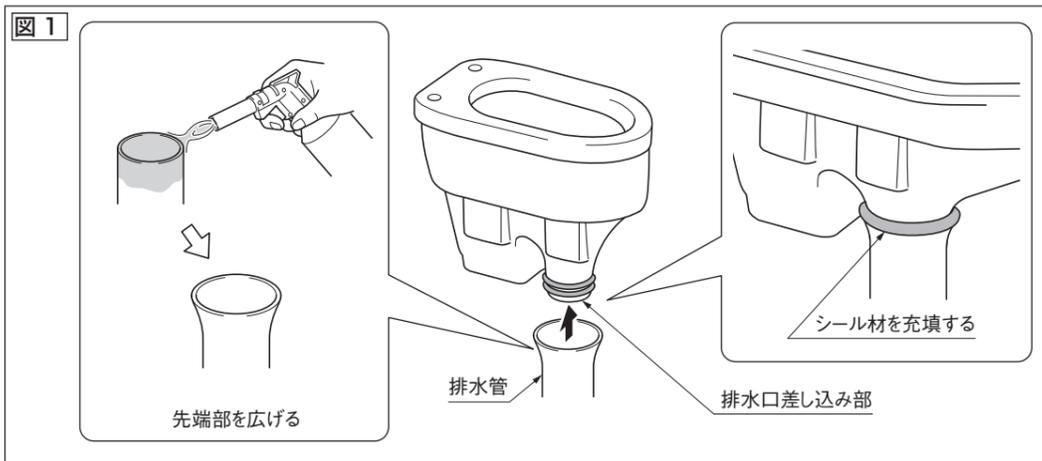
注意4

アスによる防水は埋設シロ70mm以上確保してください。

4 給排水管の接続

- 便器を据え付けた後、給排水管の接続をします。
- 排水管への接続はプチルゴムなどのシール材で陶器の排水口と排水管の内面を確実にシールしてください。(図1参照)

参考 1 参照



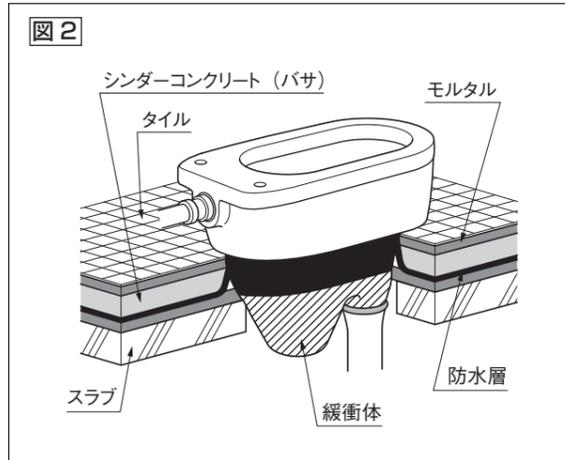
5 防水層および床面の仕上げ

- 次にならしモルタルを打って、所定の仕上げ面が便器のツバ下に合うように埋設してください。
- その後、必要に応じて防水層を設けてください。
- 防水層の上に 1 : 10 程度のシンダーコンクリートを流して押さえ、さらにモルタルを打ち、タイルなどで仕上げてください。(図2参照)

注意 5 参照

注意 6 参照

注意 7 参照



6 フラッシュバルブの取付け・水勢・洗浄水量の調節

注意 8 参照

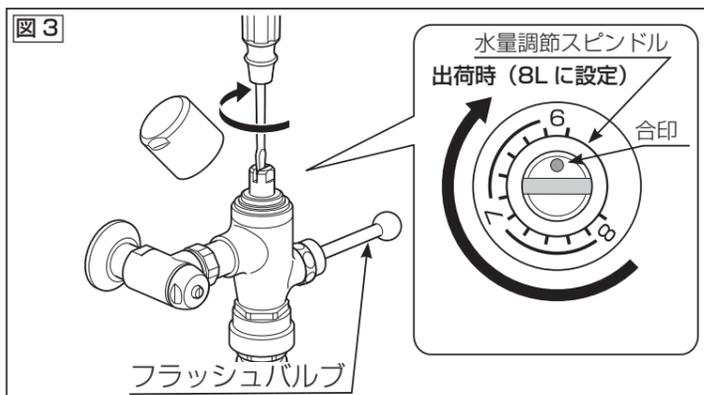
注意 9 参照

フラッシュバルブに同梱されている施工説明書にしたがって、フラッシュバルブを取り付けます。

《洗浄水量の調整》

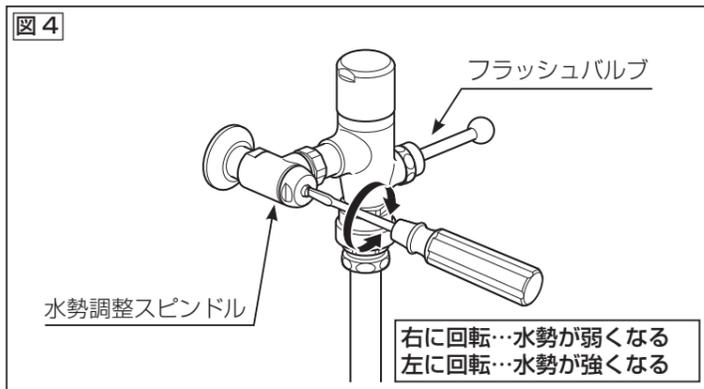
図3のように、フラッシュバルブの化粧キャップを外し、表示シールを見ながら水量調整スピンドルをマイナスドライバーで回し、合印を8L→6Lに設定します。(出荷時は合印が8Lに設定されています。)

注意 10 参照

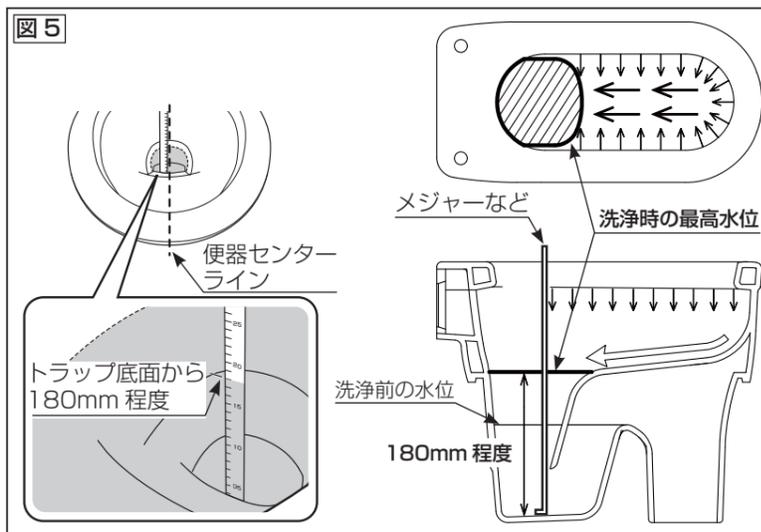


《水勢の調整》

- (1) 図4の状態ドライバーを右に回転させて、水勢調整スピンドルが閉まっていることを確認します。
- (2) ハンドル操作を繰り返しながら、水勢調整スピンドルを開け水勢を調整します。
- (3) 使用場所の水圧、配管条件により水勢が変化しますので、水勢調整スピンドルを回転させて適正な調整をします。
 - 右に回転.....水勢が弱くなる
 - 左に回転.....水勢が強くなる



- (4) 水勢は図5を参考に便器中央より左側、トラップ入口部にメジャーなどをあてます。洗浄中の最大水位がトラップ底面から180mm程度の高さになるように調整してください。水勢の調整が不十分な場合、洗浄不良、洗浄飛沫の原因になります。
 - ※ 水勢調整スピンドルを全開にしても180mmの高さに達しない場合は、洗浄水量を8Lに設定してご使用ください。

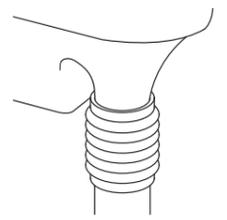


7 施工後の確認

- (1) フラッシュバルブを操作して便器鉢内を洗浄し、各接続部に漏水がなく、鉢内洗浄が良好であることを確認します。
 - ※ 排水接続部の漏水点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。
- (2) 鉢内洗浄の良否は、長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の操作で排出できることを確認します。

参考 1

外側からゴムジョイント接続も可能です。



注意 5

和風便器の埋め戻し工法で施工する場合はコンクリートの収縮や埋設部の歪などによる破損防止のため、必ず全アス巻き品(品番末尾にZR)をご採用ください。

※ 非装備品を埋設し破損した場合、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承ください。

注意 6

防水層は便器リム下の黒いアスの帯に確実に密着させてください。

注意 7

切り込み穴が便器のツバ下に隠れるように仕上げてください。

注意 8

- フラッシュバルブを取り付ける前に、必ず給水管内のゴミ・砂などを完全に洗い流してください。
- 各接続部は、漏水がないように確実に接続してください。

注意 9

＜タンクの取付＞
タンクに同梱されている施工説明書にしたがって、タンクを取り付けます。
※ タンクの場合、水勢調整を行う必要はありません。

注意 10

- 表示シールの数字は目安です。水圧などによって前後しますので、便器洗浄を数回行い、確実に洗浄できるかを確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
- 水量適正スピンドルは、1回転(8→6の範囲)以上回さないでください。1回転以上回すと表記の洗浄水量が確保できなくなります。
- ※ 元の位置が分からなくなった時は、水量調整スピンドルを反時計回りにいっぱいにし、時計回りに戻した時の1周目に合印と表示シールの数字(8)が合う位置に戻してください。